

平成 29 年度第 2 回西区地域包括支援センター運営協議会議事録

1. 日時 平成 29 年 12 月 14 日（木）午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分

2. 開催場所 西区役所 4 階 大会議室

3. 出席者 12 名

*公開部分、傍聴者なし

4. 議題

(1) 平成 29 年度上半期（4～9 月）あんしんすこやかセンターの運営状況について

① 西区あんしんすこやかセンターの実績報告について

② 西区あんしんすこやかセンター連絡会等の実施状況について

(2) 平成 29 年度上半期（4～9 月）介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて

(3) 平成 29 年度第 1 回神戸市地域包括支援センターの運営協議会の報告

【以下、非公開】

(4) 特定事業所へのサービス集中率について

(5) 地域包括ケア充実のための事業目標について

5. 当日出された主な意見及び事務局回答(公開部分のみ)

・入所、退所相談に関して、病院の入退院も件数として計上されているのか。医療介護サポートセンターが受ける相談は、病院の紹介や在宅に帰る場合の主治医の紹介等になるが、行政は、入退院をどのように考えているのか。在宅の方が入院を希望する場合も行政に相談があるのか。実際に相談があった場合は、医療介護サポートセンターから病院の連携室につながっていくのか。

→病院の入退院の相談も計上している。区への相談は、介護保険施設等への入退所の相談が主である。区民からあんしんすこやかセンターへ相談があった場合は、かかりつけ医や医療介護サポートセンター等と連携をしている。

・コミュニティサポートグループ育成支援事業について、実際にはどのような活動が行われているのか。また、昨年度との比較で数値の変動が大きいのはなぜか。

→社会福祉協議会が窓口である。平成 28 年度の助成期間が 1 年間だったため、平成 29 年度にコミュニティサポートグループ育成支援事業として計上しているのは、平成 29 年度に立ち上がったグループのみである。平成 28 年度以前に立ち上がったグループが自立して、住民主体で活動している場合もあり、グループ数や参加人数が激減しているわけではないと考えている。

・具体的な活動内容は？

→立ち上げの際に助成を行い、運営については住民主体でコミュニティづくり、介護予防などに資する活動を行っていただく。具体的には、健康体操など様々である。

・行政等主体の会議等の件数について、医療介護サポートセンター等の発足に伴い、平成28年度は316件で平成29年度は617件へと実施件数が倍増しているとのことだが、月例で会議等は行われているのか。

→月例ではなく、研修会、連絡会等の参加である。

・他機関との連絡調整の件数について、事例を挙げるとすれば、医療介護サポートセンターに個別に相談し、入院に繋がった、といった場合に計上されるのか。

→そのような個別のケース対応についても計上される。

・総合相談支援で、玉津あんしんすこやかセンターの相談件数が多いことは分かるが、介護相談の西神南あんしんすこやかセンターの件数が多いのはなぜか。

→西神南あんしんすこやかセンターは駅に近く、来所され相談する方が多いと考えている。

・そういう意味では学園都市あんしんすこやかセンターの相談件数も多くなるはずではないか。

→西神南あんしんすこやかセンターは高齢者数が多いことも要因として関係があると思われる。

・同じ方が何度もあんしんすこやかセンターに苦情を仰っている事例について、具体的に教えていただきたい。

→当初、ケアマネジャーに対する苦情としてご家族から、あんしんすこやかセンターに相談をしていた。その際のアんしんすこやかセンターの対応にも納得がいかず苦情がでた事例があった。

・広報啓発活動の件数で、押部あんしんすこやかセンターが多い要因は何か。広域のためか、あるいは積極的に行ったためか。

→押部地区で実施した結核ハイリスク検診会場での広報啓発や地域の会議等で積極的に配布した結果だと思われる。

・どのように数値化しているのか。

→認知症予防啓発ティッシュの配布数やリーフレットを配布した人数等を計上している。